

① 探究学習を重視する併設型中高一貫校

＜第一次導入校＞ 2025年4月開校（2022年7月26日発表済）

タイプ	地区	学校名 (所在地)	1学年学級数		現在の高校における取組、特色	導入のイメージ
			中学校	高校		
SSH実施校	名古屋	明和 (名古屋市)	2学級	普通科8学級 音楽科1学級	都市に起因する現象や課題などをテーマに、大学、企業、行政と連携して科学技術リーダーを育成。音楽科を設置。	<ul style="list-style-type: none"> 大学や企業と連携して、SSHの探究的な学びを中心に、幅広く中学校段階から探究的な学びに取り組む。 取組例：フィールドワーク、プレ研究、課題研究、発表（ポスターセッションなど）等
	知多	半田 (半田市)	2学級	普通科8学級	起業家精神育成や海外進出促進など、先進的分野に果敢に挑戦する人材を育成。文理融合型探究活動の実践を目指す。	
	西三河 南	刈谷 (刈谷市)	2学級	普通科10学級	「探究系」を設置し、自然科学と人文・社会科学の双方のアプローチから課題解決する文理融合型探究活動に取り組む。	
グローバル探究 実施校	海部	津島 (津島市)	2学級	普通科9学級	地元小中学校への英語出前授業や、国際交流活動などに取り組む国際理解コースを普通科に設置。	<ul style="list-style-type: none"> 国際理解コースで取り組んでいる国際交流等の取組をベースに、中学校段階から探究的な学びに取り組む。 国際探究科に学科改編し、国際バカロレアを踏まえた探究的な学びを実践する。さらに、中学校・高校への国際バカロレアの導入を目指す。

※明和高校音楽科に、中学校1学年1学級（20人）の中高一貫教育を導入。

＜第二次導入候補校＞

① 地域バランスを考慮して、三河エリアを中心に数校、追加設置する。

タイプ	1学年学級数 (中学校)	現在の高校における取組、特色	導入のイメージ
SSH実施校	2学級	地元企業や大学と連携し、科学技術の国際的リーダーを育成。	<ul style="list-style-type: none"> 大学や企業と連携して、SSHの探究的な学びを中心に、幅広く中学校段階から探究的な学びに取り組む。 取組例：フィールドワーク、プレ研究、課題研究、発表（ポスターセッションなど）等
グローバル探究 実施校	2学級	AGH（※1）やあいちスーパーイングリッシュハブスクール（※2）などにより、グローバルリーダーを育成。	<ul style="list-style-type: none"> AGHやあいちスーパーイングリッシュハブスクールの取組をベースに、中学校段階から探究的な学びに取り組む。 中学校・高校への国際バカロレアの導入を目指す。

※1 AGH（あいちグローバルハイスクール）：文部科学省の「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」の取組を継承した事業。旭丘高等学校と時習館高等学校の2校を指定。

※2 あいちスーパーイングリッシュハブスクール：英語教育の拠点校を指定し、英語を高いレベルで使いこなす人材の育成を目指す。拠点校は、千種・中村・瀬戸西・尾北・一宮西・津島・常滑・豊田北・西尾・刈谷北・安城東・豊橋東・御津の13校。

② 導入時期は、2026年4月を目標。

【配置イメージ】

